

- 問1 明治時代に日本の近代化を支えた、群馬県を中心に分布する養蚕・製糸業に関連する世界文化遺産は何か。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 明治日本の産業革命遺産      2. 富岡製糸場と絹産業遺産群      3. 白川郷・五箇山の合掌造り集落      4. 石見銀山遺跡とその文化的景観
- 問2 千葉県木更津市の沿岸部において、かつての地形図では海であった場所に「築地」という地名や大規模な工場、港湾施設が確認できるようになった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 大規模な干拓事業によって、農用地としての利用を目的に海水を抜き取ったため。      2. 地震による地盤の隆起によって、かつての浅瀬が広大な平坦地へと変化したため。      3. 地球温暖化による海面低下の影響で、もともと海底だった場所が自然に陸地化したため。      4. 工業用地を確保するために、遠浅の海を埋め立てて人工的な陸地を造成したため。
- 問3 関東地方のある県の農業産出額の統計において、米の産出額が約400億円であるのに対し、野菜の産出額は約840億円、花きの産出額は約140億円と、野菜や花きの割合が非常に高くなっています。ネギやほうれん草などの生産が盛んな、この統計が示す県はどこですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 千葉県      2. 茨城県      3. 群馬県      4. 栃木県
- 問4 東北地方の山形県や九州地方の大分県など、他地方の農業県とともに統計資料で取り上げられることがある、関東地方北部の内陸県を答えなさい。この県は、利根川の支流などが流れる平野部での稲作が盛んな特徴を持っている。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 滋賀県      2. 群馬県      3. 栃木県      4. 福島県
- 問5 千葉県のある地域における交通網の整備について、1990年代半ばに東葉高速鉄道が開通した際の変化を述べた資料があります。そこでは大手町駅までの所要時間が60分から46分に短縮され、乗り換え回数も3回から0回になったと示されています。このような「所要時間の短縮」が地域に与えた社会的な背景・理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 交通網の整備に合わせ、住民の多くが郊外のロードサイド店舗へ移住した      2. 鉄道の高速化により、地域の主要産業が農業から工業へとシフトした      3. 乗り換えの負担が解消されたことで、都心へ通勤・通学する世帯の流入が促進された      4. 地価が急激に下落したため、公的な大規模団地が試験的に建設された
- 問6 関東地方の東部に位置し、太平洋に面して九十九里浜が広がっている千葉県の半島の名称を答えよ。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. 能登半島      2. 三浦半島      3. 房総半島      4. 紀伊半島
- 問7 関東地方にある4つの都県の統計において、製造品出荷額が約17兆円と極めて高く、情報通信業の事業所数が258、漁獲量が290トンとなっている県はどこですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 東京都      2. 埼玉県      3. 千葉県      4. 神奈川県
- 問8 日本の都道府県の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり1,000人を超え、人口が増加傾向にある県があります。この県は、大規模な工業地域を背景とした高い製造品出荷額を誇ると同時に、全国でも上位の野菜産出額を記録しているのが特徴です。この県はどこですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 神奈川県      2. 宮城県      3. 千葉県      4. 秋田県
- 問9 日本の都道府県別の統計において、年間の日照時間が2000時間を超えて長いにもかかわらず、住宅用太陽光発電機器の設置数が5万件未満と、日照時間に比例せず少なくなっている地域があります。このように、日照条件が良いにもかかわらず設置数が伸び悩む主な要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
1. 製造業が盛んな地域であり、家庭用よりも工場向けの電力供給が優先されているため      2. 人口密度が高く、マンションなどの集合住宅や借家の割合が高いという住宅事情があるため      3. 土地の価格が安く、個人住宅よりも大規模なメガソーラーの建設が優先されているため      4. 平地が少なく山地が多いため、住宅の日当たりを確保することが困難であるため
- 問10 地形図において、国道20号線を示す太い道路に対して、旧街道である甲州街道が直角に交わり、アルファベットの「T」の字のような形状で合流している地点があります。このような形状の交差点を何と呼びますか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 十字路      2. スクランプル交差点      3. 環状交差点 (ラウンドアバウト)      4. 丁字路 (丁字型交差点)
- 問11 日本の大都市圏における人口動態を分析した際、千代田区などの東京都心部で見られる特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 昼間人口を夜間人口で割って算出される数値が、100%を大きく超えている。      2. さいたま新都心のように都市機能の分散が進んだため、昼間人口と夜間人口がほぼ等しい。      3. 都心から郊外へ向かう通勤・通学者が多いため、昼間人口が夜間人口を下回っている。      4. ドーナツ化現象が完全に解消された結果、夜間人口が昼間人口を上回ったようになった。
- 問12 栃木県、群馬県、茨城県の3県にまたがる工業地域の説明として正しいものはどれか。製品出荷額の内訳において、金属、化学、食品などの他業種に比べて機械工業の割合が非常に高く、出荷額の総計が約30兆円規模に達するという特徴がある。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 京浜工業地帯      2. 京葉工業地域      3. 鹿島臨海工業地域      4. 北関東工業地域
- 問13 関東地方の大学数を比較した統計資料によると、東京都が143校と突出して多く、次いで神奈川県 (31校)、埼玉県 (28校)、千葉県 (27校) となっており、群馬県 (14校) などの北関東の県と比較して南部の都県に集中しています。このような大学数の分布傾向が生じる背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 北関東の各県は農業や工業に専念する地域として区分されているため、大学などの教育機関を設置することが制限されている。      2. 関東地方のすべての県で大学数を均等にするため、人口の少ない県ほど1校あたりの学生定員を増やすよう法律で義務付けられている。      3. 東京大都市圏への人口集中にともない、教育や雇用の機会を求めて学生が集まるため、東京都心やその周辺に大学が多く立地している。      4. 交通網が未発達であり県境を越えた通学が困難なため、各県が独自に同規模の大学群を整備した結果、人口比に応じて差がついている。